特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条) 【PCT36 条及びPCT規則 70]

REC'D	0 9	JUN	2005
WIPO)		PCT

出願人又は代理人 の舞類記号 FP04-0153-00	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。			
国際出願番号 PCT/JP2004/010171	国際出願日 (日.月.年) 09.07.20	優先日 (日.月.年) 11.07.2003		
国際特許分類(I PC)Int.Cl. ⁷ G06T1/00	G06T7/00			
出願人 (氏名又は名称) トヨタ自動車株式会社				

1. この報告書は 法施行規則第	t、PCT35 557条(P(5 条に基づきこの国際 C T 36 条)の規定に	予備審査機	関で作成された	に国際予備審査報	告である。	
2. この国際予備	帯査報告は	、この表紙を含めて	全部で	4	ページからなる	5.	•
	t次の附属物 野類は全部で	7件も添付されている。 -	、 ページであ	· っる。			
「 補」	Eされて、こ 及び/又は図	この報告の基礎とされ 図面の用紙(PCT規	た及び/又 則 70.16 及	はこの国際予 び実施細則第	備審査機関が認る 607 号参照)	かた訂正を含む明紀	細書、請求の範
一 第1	I 概4.及び 祭予備審査機	ド補充欄に示したよう 幾関が認定した 差 替え	に、出願時 用紙	における国際	出願の開示の範囲	∄を超えた補正を↑	含むものとこの
b. 「電子が配列表	長に関する補	: <u>-</u> 充概に示すように、 	コンピュー)	夕読み取り可能	とな形式による 酢	(電子媒体の種類 2列表又は配列表)	、数を示す)。 こ関連するテー
4. この国際予備	諸審査報告は	、次の内容を含む。					<u></u>
ררפים ררו	第II欄 優新工機 第IV欄 第VI欄 別 第 VI欄 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別	際予備審査報告の基準 先権 規性、進歩性又は産業 現の単一性の欠如 CT35条(2)に規定す るための文献及び説 る種の引用文献 際出願の不備 際出願に対する意見	業上の利用で る新規性、				それを裏付
•	******* ==	PARTICIPALITY OF SECTION			•		

国際予備審査の請求書を受理した日 09.07.2004	国際予備審査報告を作成した日 26.05.2005	, .
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915	特許庁審査官(権限のある職員) 協岡 剛	9365
東京都千代田区領が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 内線 3	531

第I棡	報告の基礎			
_ ,				
1. Ea	国際予備審査報告は、下	記に示す場合を除くほか	、国際出願の官語を基礎、	とした。
-	この報告は、	語による翻訳文を3	き礎とした。	
	それは、次の目的で提出	された翻訳文の言語であ	_ට	
 -	PCT規則12.3及び2 PCT規則12.4にい	3.1(b)にいう国際調査		
F	PCT規則55.2又は5	7国際公開 55.3にいう国際予備審査		
•			•	
2. この	報告は下記の出願書類を	基礎とした。 (法第6条	(PCT14条)の規定に	基づく命令に応答するために提出され
た左省人	上用紙は、この報告におい	「「出願時」とし、この	報告に添付していない。))
₽	出願時の国際出願書類	ı	,	
_	明細書			
	· 	~	出館時に担用されたもの	, '
	第	ページ*	出願時に提出されたもの	, 付けで国際予備審査機関が受理したもの。
	第	ページ*,		付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
Г	請求の範囲			
	第		出願時に提出されたもの	· ·
	第		PCT19条の規定に其	こづき補正された もの
	第 第		· ————————————————————————————————————	付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	•			110 と国际 17個番車機関が支達したもの
	図面	•	•	
	第	ページ/図、	出願時に提出されたもの	
	- 第 第	ペーシノ図 *、 ページノ図 *		付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	刑利幸力以開始之 。		•	刊りて国际下個番直機関が支達したもの
J	配列表又は関連するテー 配列表に関する補	ーフル 充欄を参照すること。	•	•
		,		•
з. Г	補正により、下記の書類	が削除された。		
	明細書	**	,	
	計求の範囲	第		ゴ
	図面	第		ページ/図
•	配列表(具体的に記	•		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	配列衣に関連するプ	テーブル(具体的に記載す	「ること)	<u> </u>
		•	•	
4. 「	この報告は、補充欄に示	やしたように、この報告に	上添付されかつ以下に示し	た補正が出願時における開示の範囲を超
	Williams	がんるので、その補止かさ	れなかったものとして作	成した。 (PCT規則 70.2(c))
	明細書	第		ページ
	開 請求の範囲 図面 図面 コード・フェー	第 第	I	頁 ページン(図)
	配列表(具体的に割	記載すること)		
	配列表に関連するラ	テーブル(具体的に記載す	 	
	,	,		
	•			
* 4.	に該当する場合、その用編	氏に "superseded" と記り	しされることがある	
				·

第IV概 発明の単一性の欠如

- 1. 請求の範囲の減縮又は追加手数料の納付の求めに対して、出願人は、
 - | 請求の範囲を減縮した。
 - 「 追加手数料を納付した。
 - 追加手数料の納付と共に異議を申立てた。
 - 請求の範囲の減縮も、追加手数料の納付もしなかった。
- 2. V 国際予備審査機関は、次の理由により発明の単一性の要件を満たしていないと判断したが、PCT規則68.1の規定に従い、請求の範囲の減縮及び追加手数料の納付を出願人に求めないこととした。
- 3. 国際予備審査機関は、PCT規則 13.1、13.2 及び 13.3 に規定する発明の単一性を次のように判断する。
 - 満足する。
 - ✓ 以下の理由により満足しない。

請求の範囲1-22に係る発明は、単眼カメラによって撮影された三次元物体の動画像から該三次元物体の所定の特徴点の運動を推定するために、動画像のフレーム各々から観測ベクトル抽出手段と、三次元モデル初期化手段と、運動推定手段とを備えるものである。

請求の範囲23-26,30-33,37,39に係る発明は、単眼カメラで顔を撮像し、撮像した動画像から視線を求めるために、顔画像上の瞳中心の三次元構造を静的パラメータと動的パラメータで定義し、静的パラメータ及び動的パラメータを推定することによって視線を求めるものである。

請求の範囲27-29,34-36,38,40に係る発明は、単眼カメラで三次元物体を撮像し、撮像した動画像から三次元物体の運動を求めるために、画像上の三次元物体の三次元構造をrigidパラメータとnon-rigidパラメータで定義し、rigidパラメータ及びnon-rigidパラメータを推定することによって三次元運動を求めるものである。

- 4. したがって、国際出願の次の部分について、この報告を作成した。
 - ▼ すべての部分

間求の範囲

に関する部分

第	第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第 12 条(P C T 35 条 (2))に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明				
1.	見解		·		
	新規性 (N)	請求の範囲	1–22	有	
		請求の範囲	23-40	無	
	進歩性(IS)	請求の範囲	1-22	有	
١.		請求の範囲		無	
<u> </u> -	産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1–40	有	
	See School Co. 1 33 to . 4 Heliup / g. ww.	請求の範囲		無	
ı			•		

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1: JP 11-281323 A (いすゞ自動車株式会社) 文献2: JP 11-281324 A (いすゞ自動車株式会社)

請求の範囲23-40

文献1あるいは2には、指標の絶対位置、および、眼球方向を求め、これに 頭部の位置と角度を加えて、視線方向を算出することが記載されている。 文献1あるいは2における「基準標識(および基準標識と相対的位置関係が

文献1あるいは2における「基準標識(および基準標識と相対的位置関係が固定された眼球位置)」は、顔に対して静的な位置にあるため、本願の「静的パラメータ」および「rigid パラメータ」に相当する。

また、文献1あるいは2における「眼球方向」は、動的に変化するパラメータであるため、本願の「動的パラメータ」および「non-rigid パラメータ」に相当する。

したがって、文献1あるいは2の記載に対して本願前記請求の範囲に係る発明は新規性・進歩性を有するものではない。

請求の範囲1-22に係る発明は、国際調査報告に引用されたいずれの文献 にも記載されておらず、当業者に自明なものでもない。